

毎月の勉強句会では、初めの三十分を実践交流の時間、後半の一時間を勉強句会の時間としています。

実践交流では、五月に足立区立鹿浜第一小学校の知念哲夫先生が、教室で子どもたちの作った俳句を紹介してくださいました。七月はNHKの番組「ドラクロワ」で紹介された田付賢一先生と伊藤沙智さんの俳句との出会いを通じたエピソードを録画DVDで視聴しました。

後半のおよそ一時間が勉強句会の時間です。事前に投句された当季雑詠の二句を参加者で選び合ったり、また現代俳句協会ジュニア研修部の方々に俳句の手ほどきを受けたりします。初心者から経験者まで和気あいあいと楽しく参加できる勉強会です。では、勉強句会に出された句をいくつか紹介いたします。

【4月・勉強句会】

歩き出す見つけた春を数えつつ 松本 芳明  
花菜風次女には次女の悩み事 山本 新  
余震なお続く日本吊るし雛 黒崎喜代美



【5月・勉強句会】

擦り傷も笑顔も五月保健室 土田 知子  
葉桜や雲梯の子ら包みをり 土田 明人  
春色のブラウスを着て銀座線 黒崎喜代美  
こいのぼり付けて風切る三輪車 知念 哲夫



【7月・勉強句会】

青梅や音読の声よく揃ふ 荒井ハルエ  
少年の涙知ってるかぶと虫 田付 賢一  
風鈴の音が教える風の道 鈴木 正美



【日本学校俳句研究会】

<http://gakko-haiku.sitemix.jp/>

連絡先：江東区教育委員会学校支援課

小山正見 [oyanamasami@gmail.com](mailto:oyanamasami@gmail.com)

【編集後記】

二月二十五日の神楽坂での発足式から半年が過ぎようとしています。その間、学校では頼もしく育った六年生が卒業し、元気な可愛い一年生が入学してきました。季節の移り変わりの中で子ども達は日々様々な学校生活を送っています。受け持った(関わった)子どもたちが、俳句との出会いを通して、美しい日本語に興味をもち、豊かな日本語の使い手として育っていくことを願っています。素晴らしい日本の四季の自然に出会い、生活や文化と関わりながら成長していくことを願っています。

スタートしたばかりの日本学校俳句研究会。多くの皆様にご指導いただきながら一歩ずつ進んでいきたいと思っております。どうぞよろしく願っています。

足立区立千寿小学校 山本 新

# 学校俳句研究 No.1

☆日本学校俳句研究会☆会報 平成24年7月

## 日本学校俳句研究会のめざすもの

### 子ども俳句の可能性

日本学校俳句研究会 代表 小山 正見



子どもたちは俳句が好きです。

その最大の理由は、俳句が「短い」からだと思えます。短いから、どの子どもも作品を「完成」させ、達成感を味わうことができます。そして、五七五の短い詩の中に工夫を凝らし、自分を表現出来るのが、子どもたちの満足感に繋がっています。また、俳句は学力との関係関係があまりありません。ですから、勉強の成績と関係なく誰もが同じスタートラインについて取り組む事ができます。

さらに言えば「句会」というゲームを楽しめることも、現代の子ども達の空気にあっているのかもしれない。

しかし、そこに留まらないのが俳句です。俳句を通して子どもたちの語彙を増やし、日本語力を高めることができます。自然への認識を深め観察力や感動する心を培うこともできます。伝統的な言語文化の枠を超えて、子ども達の生きる力を高める上で大いに活用できる教育的なツール、それが俳句だと考えています。

日本学校俳句研究会は、全国の先生方や俳人の方々と協力し、子どもたちに俳句のよさを知らせ、俳句教育を普及し、有効な指導法を開発していきたくと考えております。皆様の「指導」ご鞭撻をよろしく願っています。

(江東区教育委員会学校支援課 前江東区立八名川小学校長)

平成二十四年度  
日本学校俳句研究会 活動計画

【学校俳句の集い】

○平成二十四年二月二十五日(土)  
神楽坂・日本出版クラブ会館  
日本学校俳句研究会発足式

1 幹事会

○平成二十四年五月十二日(土)  
○平成二十五年三月三十日(土)

2 総会

○平成二十四年六月二十三日(土)  
※平成二十五年四月二十七日(土)

3 学校俳句交流会

○平成二十四年六月二十三日(土)  
講演 鈴木伸一氏  
(上毛新聞ジュニア俳壇選者)  
実践報告 山本純人氏  
(川越市立福原中学校)  
江東区立八名川小学校  
○平成二十四年十二月一日(土)  
内容・会場 未定

4 勉強句会

○平成二十四年 四月十二日(木)  
○平成二十四年 五月 十日(木)  
○平成二十四年 七月 五日(木)  
○平成二十四年 九月 六日(木)  
○平成二十四年 十月 四日(木)  
○平成二十四年十一月 八日(木)  
○平成二十五年 一月 十日(木)  
○平成二十五年 二月 七日(木)  
○平成二十五年 三月 七日(木)  
会場は江東区立八名川小学校  
時刻は六時三十分～八時  
※いずれも当季雑詠二句。  
※見学・参加のみ可。

5 宿泊勉強会

○平成二十四年八月十七日(金)  
～八月十九日(日)  
講師 曾根新五郎氏  
(新島村立式根島小学校)  
場所 東京都式根島  
内容 講演会・研修会  
吟行会・句会



平成二十四年度  
日本学校俳句研究会 役員

代表 小山正見 江東区立千寿小学校  
幹事長 山本 新 足立区立千寿小学校  
幹事 大熊 拓 足立区立六木小学校  
加藤誠則 佐倉市立根郷小学校  
島田さやか 江東区立越中島小学校  
下山桃子 日野市立仲田小学校  
菅原晋也 府中市立府中第十小学校  
土田明人 足立区立上沼田小学校  
中村都子 江東区立深川第七小学校  
森田香苗 豊島区立清和小学校  
山本純人 川越市立福原中学校  
監査 疋田大晴 会社員  
顧問 金子 嵩 現代俳句協会会員  
川辺幸一 現代俳句協会会員  
斉藤二郎 元葛飾区立花の木小学校長  
高橋博夫 俳人協会会員  
高柳克弘 俳人協会会員  
田付賢一 現代俳句協会会員  
堀本裕樹 俳人協会会員

第八回学校俳句交流会レポート  
足立区立六木小学校 大熊 拓

○山本純人先生の実践報告

山本純人先生は埼玉県の公立中学校の国語科の先生です。中学校での俳句指導実践の資料が少ないなかで、たくさん楽しい実践を報告してくださいました。内容は以下の五つです。

- ①あせらずじつじつと指導する。
- ②勝負ペンをを使って清書させる。
- ③暗唱しながらのくちずさみ俳句。
- ④フェイスブック流「いいね」効果指導。
- ⑤助っ人国語辞書。

この実践も個性的でとても興味が湧くものでした。特に②の勝負ペンをういて清書することで推敲のチャンスを持つことや、④の「いいね」と俳句をほめてあげることで俳句づくりに消極的だった生徒も意欲的に取り組むようになることは、校種を問わず活用できそうです。

また、辞書で五文字、七文字の言葉を探す方法は、俳句が説明っぽくならないようにしたり、豊かな語彙の句を作ったりすることにつながるかわかり、とても興味深いものでした。

○鈴木伸一先生の「講演」

上毛新聞「ジュニア俳壇」の選者でもある鈴木伸一先生は、これまで数多くの俳句を選句されてきました。また実際に子どもたちへの俳句指導も行っています。そんな日頃の実践の中から3つのポイントを教えてくださいました。それは「俳句のはかせ」です。

「は」…発見。  
「か」…観察。  
「せ」…説明を省くこと。  
これらの3点が俳句上達へのポイントであることです。しかしこのポイントを実践するには指導者の働きかけも重要であると教えていただきました。

また、連想ゲームから、多様なもの見方を句にすることや、説明を省くことが標語的な句になることを防ぐ効果があることも教えていただきました。何より、作った句をほめることで、子どもたちに自信を与え、個性を尊重し合えるいい雰囲気での俳句作りの環境ができるとおっしゃっていました。

○体験句会

足立区立千寿小学校の山本新先生の

司会で体験句会を行いました。あるクラスの子ども達が実際につくった俳句を参加者が3句ずつ選び、選んだ理由等の感想や意見を交流し合いました。句会の面白さは人に自分の句が選ばれていることにあります。名前を伏せて行う事で、どの句も平等です。選んでくれた人の数が多なくても少なくとも嬉しいことはいうまでもありません。

また先生が選ぶということも大切です。先生の選は特別なのです。この日は、現役俳人の方に、子ども俳句の見方やアドバイスの仕方なども教えていただきました。  
◇日よう日ふとんのおいはるのかぜ  
という句については、嗅覚や感覚が刺激されるとのことや、  
◇日よう日おそとでこはんはるのかぜ  
◇日よう日おそとでこはんはるのかぜ  
のような、味を表現することで実感がこもっているという話をいただきました。

この日の体験句会では、俳句の中に心のゆれや小さな感動が表現されているものに票が多く集まっていました。

今回も学ぶことが多く、実践的で充実した楽しい交流会でした。